

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
高藤 清美

教育の責任

情報科学分野の基礎的な科目（情報科学入門（情報基礎 B の再履修者向け）（1年次必修 2単位、今年度は2年次対象）、情報科学入門（留学生対象）（1年次必修 2単位））、情報科学分野の専門的な科目（IoT技術／デバイスコントロール1／フィジカルコンピューティング1（2～4年次 2単位）、ウェアラブルコンピューティング（2～4年次選択 2単位オムニバス 1/2 担当）、プログラミング B／プログラミング（C言語）（2～4年次選択 4単位））、情報科学分野の応用的な科目（専門演習ゼミ 2（4年次必修））を担当している。他に、高大連携を想定した「特別教養講座Ⅱ／特別教養講座 B（1～4年次選択、2単位））を担当している。

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
情報科学入門(情報基礎 B・再履修)	1	16	講義・演習	必修	総合教養科目群 入門科目群
IoT 技術 デバイスコントロール1 フィジカルコンピューティング1	2～4	3	講義・演習	選択	専門基礎科目群 情報デザイン専攻
ウェアラブルコンピューティング	2～4	17	講義・演習	選択	専門基礎科目群 情報デザイン専攻
情報科学入門(留学生)	1	45	講義	必修	総合教養科目群 入門科目群
プログラミング B プログラミング(C言語)	2～4	15	講義・演習	選択	専門基礎科目群 情報デザイン専攻
専門演習ゼミ 2	4	3	演習	必修	専門発展科目群 専門発展科目
特別教養講座Ⅱ 特別教養講座 B	1～4	4	演習	選択	総合教養科目群 教養科目

教育の理念

情報科学分野の基礎的な科目については、日夜進歩を続けるコンピュータや情報活用に関わる分野における根本となる知識や技術の理解を深めることを目標としている。この分野の根本となる知識や技術を理解することで、長きに渡る職業人生の中で新しい知識や技術を自らが学ぶことのできる素養を身に着けさせる。情報科学分野の専門的な科目においては、コンピュータという機械を理解し、実生活の中で役に立つ道具とするために必要なハードウェアの基本的な知識、ソフトウェアの構築に必要な知識や技能の修得を目指す。特にインダストリー4.0やSociety5.0で必須となるIoTに対する知識や技能の獲得を目指す。専門演習ゼミでは、情報の専門を深めるとともに、働くことの意味を理解し、豊かな職業生活を営むために、職業生活で取るべき考え方や態度などについても、常に意識することで、卒業後の職業人生の中でも様々な考察をするという態度を身に着ける。

教育の方法

担当する情報科学分野の授業科目における基本的な知識や技術については確実に修得することを目指し、演習課題等も基礎的な問題の量を多めにしている。ある程度、知識や技術の修得が進んだ段階では、十分に考えることが必要な課題の量を多めにする。選問演習ゼミでは、授業で扱った内容に関連して、自分で調べたり、しっかりと考えることの必要な課題を多くしたりすることで、常に考えるという態度を積極的に育成するようにしている。

教育の成果 および 今後の目標

「授業改善計画報告書」に示しました。

参考資料

- ・各授業で使用している資料プリント、課題プリント（非公開）
- ・各授業で使用しているオンライン資料（非公開）

(2025-06-20 記述)